

スクールレポート

SCHOOL REPORT 65

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「笠山だでのんまつり」と「道徳教育の推進」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

童浦小学校「笠山だでのんまつり」

地域でふるさとを愛する子どもを育てる

童浦小学校では笠山公園を会場に「笠山だでのんまつり」が開催されました。このまつりは校区コミュニティ協議会を中心に、老人クラブ、消防団、PTA委員の皆さんが一つになって企画・運営をしています。

子どもたちは笠山に登り、校区を見渡したり、周辺の自然に触れたりするのはもちろんのこと、いくつかのイベントにも参加しました。その一つが「だでのんギネス」です。「大声大会」「紙飛行機飛ばし」「こま回し」「お手玉」などの種目があり、それぞれ声の大きさ、距離、時間、回数の記録に挑戦しました。そのほかに6年生が野点^{のだて}も行いました。6年生はこの日のためにお茶の作法を学び、練習をしてきており、当日は緊張しながらも、地域の方へお礼の気持ちを込めて抹茶を振る舞いました。

人とのふれあいがふるさとを愛する心を育て、子どもたちは礼儀や感謝の心も学びながら健やかに育っています。「笠山だでのんまつり」は、地域で子どもを育てる大事な機会の一つとなっています。



●紙飛行機をなるべく遠くに飛ばします



●野点ではお手前を披露しました



●親子で海岸清掃を行いました



●道徳の授業で積極的に手をあげる子どもたち

赤羽根小学校「道徳教育の推進」

心を育てる活動

本年度、本校は愛知県道徳教育推進校として、道徳の授業や心を育てる行事を積極的に行ってきました。

道徳の授業では、子どもたちが登場人物の行動や考え方について考え、意見を述べ合い、自分自身を振り返ることで道徳心を高めてきました。また、行事では、全校給食や芋掘り、仲良し集会など、1年生から6年生までの縦割り班による活動を積極的に行い、高学年が低学年を思いやり、子ども同士が互いに助け合ったりする場面を多く設けました。さらに、「思いやり」をテーマとした講演会、親子で取り組む海岸清掃、保護者ボランティアの方による読み聞かせなど、地域や保護者の皆さんとともに子どもたちの心を育てる活動を行ってきました。

昨年10月29日の道徳授業公開・研究報告会では、子どもたちの元気で和やかな様子は、県内からの来校者にとっても好評でした。今後も穏やかな赤羽根の地域・保護者の方々とながら、心豊かな子どもたちの育成に努めていきます。